

【第4回災害ボランティア報告(ガレキ撤去と思い出の品探し)】



9月12日～14日に福島県南相馬市へボランティアに行っていました。第4回目となる今回は若干少なめの15名の参加でした。2回目となる福島県南相馬市は、今でも震災後の原発事故の影響により復興作業が遅れている地区です。今回も神奈川県企業庁水道営業所様よりボランティアセンターから要望のあった水を協賛していただきました。第3回までは作業日を1日としていましたが、今回初めて2日間にわたり作業を行いました。宿泊したホテルも南相馬市内にある「ホテル叶や」さんにお世話になりました。このホテルは津波で被災して、現在の場所に仮施設として営業を再開した所です。ボランティアセンターからも近く、宿泊者はボランティアや工事作業員の方が多かったです。今回の日程は、12日深夜に海老名の組合本部を出発して車中泊、13日の朝ボラセンに到着して直ちに作業開始です。作業終了後にホテルへ移動して宿泊、翌日も朝から作業を行い、夕方に現地を出発して深夜帰着という過酷なスケジュールでした。参加された皆様、本当にお疲れ様でした。



水のペットボトル搬入



作業説明を聞く部員



作業前の黙祷



作業する建物の内部を撮影したものです。津波被害を受けたままの状態でした



今回は1日目朝のうちは小雨でしたが、それもすぐに止んで作業に支障はありませんでした。日程が2日ずれていたら台風の影響で中止となっていました。



作業開始(トナリ準備)



まず外のガレキ撤去



ガレキ撤去と思い出探し



ガレキを分けて探します



堆積した汚泥も除去



ガレキはかなりの量です



外では撤去材の解体分別



ガレキ撤去後の内部



汚泥も撤去しました



外に積上げられた廃材



ゴミ・畳・汚泥・家電等



津波で止まった時計



今回の宿泊先「叶や」



ホテル食堂での夕食



ホテル前で撮影

今回の作業は、建物内部のガレキを撤去して思い出の品を探すことを目的としていました。残念ながら指定された品物は見つかりませんが、通帳やパスポート、日記、写真などガレキの中からは多くのものが出てきました。これらは現場に保管させていただきました。このように、南相馬市を含む福島県市町村ではまだまだ復興への道のりは遠い状況が続いています。青年部では今後もできる限りの支援を続けてまいります。